

第42回よりみちクラブご案内

京都南山城・海住山寺と恭仁京跡を巡る



今回は海住山寺の秋の国宝五重塔特別開扉と寺宝特別公開にあわせて、今から1300年前に木津川右岸「瓶原(みかのはら)」に造られ コスモスに彩られた恭仁京跡を ふるさと加茂のガイドさんに案内してもらい訪ねます。

1. 日 時 :令和5年10月31日(火)

2. 集合場所:

JR 加茂駅改札前9:40集合(改札を出る前にトイレを済ませておいてください)

*参考:JR 新今宮8:39～天王寺8:42～奈良9:20～加茂9:34

*前日17時のNHKまたは気象庁天気予報で「京都府南部」の午前または午後の降水確率が50%以上で中止します。

(中止の場合は 事務局より前日中にメールでお知らせします。)

3. 行程

10:10・加茂駅西口(和束行きバス乗車)—10:13・岡崎下車—徒歩40分—

10:55～11:55・海住山寺(五重塔・本堂他見学)—徒歩30分—

12:20～13:10・恭仁の宮跡(昼食・現地案内)—徒歩10分—

13:20～13:50・くにのみや学習館(DVD)—徒歩30分—

道中・万葉歌碑案内—14:20加茂駅着

4. 持ち物:

お弁当、飲物、雨具、敷物 あればストック(海住山寺の参道は舗装されていますが、かなりの急こう配が1キロ約20分あるため、あった方が楽です。)

5. その他

拝観料:海住山寺特別拝観料800円 ガイド料:300円 バス代:190円(ピタハ°OK)

**海住山寺

創建は聖武天皇が、東大寺大仏造立の工事の平安を祈るために良弁僧正に命じて十一面觀音を奉安して藤尾山觀音寺と名付けた事に始まる。その後灰燼の厄に遭いことごとく失ったのち解脱上人によって、再建された。

現存の五重塔は小さいながらもよく整い 特に心柱が初層で止められている点と裳階(もこし)が付けられているところが建設史上有名。

**恭仁の宮

天平12年(740年)聖武天皇は疫病や戦乱に見舞われ、社会不安を一新する為平城京からの遷都を決意し、山背国相楽郡に恭仁京を遷都したが、天平16年には難波宮にせんとされた。規模も小さく4年という短命の都だったが、この間諸国に国分寺、国分尼寺建立を命じたり、墨田永年私財法など重要な政策をおこなった。

◆連絡先 嶋村(080-1463-8119) 服部(090-1141-3561)

